

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 446

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ごみ・資源の収集カレンダー等の発行	430,200	部	7,088
		清掃情報紙「ごみパックン」「ごみパックン中学生版」の発行	127,000	部	2,365
		集団回収団体報奨金支払い	421	件	41,159
		その他(集団回収支援消耗品ほか)			24,439

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度に清掃事業が東京都から23区に移管されたことに伴い、「杉並区の清掃事業」の発行を開始し、現在は隔年発行しています。17年度から「ごみパックン」の発行を開始しました。平成21年から地区別に「ごみ・資源の収集カレンダー」を発行しています。</p> <p>小学4年生には平成18年度から「できることからはじめよう」、中学生には22年度から「ごみパックン中学生版」を発行し、年代に応じた内容でごみの減量等を周知しています。</p> <p>平成25年度にスマートフォン用アプリケーション「なみすけのごみ出し達人(マスター)」を開発し、配信を開始しました。</p> <p>集団回収量は、平成23年度以降増加を続けています。</p>
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>収集カレンダーの配布を開始して5年が経過し、平成25年度には、カレンダーの形式を見直しました。このことでカレンダーが見辛くなったとのご意見がありました。</p> <p>清掃情報紙「ごみパックン」、「ごみパックン中学生版」、「できることからはじめよう」は大変わかりやすく、ごみの減量に対する意識の向上に役立つとの意見がありました。</p> <p>スマートフォン用アプリケーション「なみすけのごみ出し達人(マスター)」は、分別をいつでもすぐに調べることができる、不燃ごみの日が通知されて便利というご意見がありました。</p> <p>集団回収については、団体との意見交換会の中で、常に支援内容の拡大・充実を求められています。</p>
	今後の予測	<p>若年層や子育て世代など、これまでの紙媒体での周知や清掃研修会、清掃懇談会等を通じた啓発活動では周知が行き届きにくかった世代に対する周知活動が必要と考えます。平成26年度は協働提案事業を活用し、子育て世代が興味を持ちそうな講座等を通じて「誰でも簡単に継続して」行える生ごみ減量策のアイデアを収集し、子育て世代のロコミの力を利用して発信していきます。</p> <p>集団回収は、制度のPRや活動支援策の充実を図っていくことで、団体数・回収量ともに増加していきます。</p>
評価と課題	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」は、カレンダー形式の見直しを行いましたが見づらくなったとの意見もあり、更なる改善を検討しています。</p> <p>ごみ減量については、区民が主体となって意識的にごみ減量に取り組んでもらうよう、ごみ減量の意義や適正な分別、処理経費の削減の必要性など、様々な機会を通じた働きかけを引き続き行っていきます。</p> <p>集団回収については、全体の回収量は増加していますが、さらに集団回収を活発にしていきたいため、団体活動の支援策について検討をすすめます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
		<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」は、紙での周知媒体として好評を得ており、廃止しがたいですが、一方で毎年作成し全戸配布をする必要はない、という意見もあります。杉並清掃工場の竣工や杉並清掃事務所の建替え等を踏まえて、今後、収集日の変更等が発生する場合に区民に漏れなく周知できるよう、内容や経費の改善を行うとともに、カレンダーの在り方を検討していきます。</p> <p>集団回収は町会・自治会や大規模集合住宅など既存の団体等に対し、積極的に制度のPRや実施の働きかけを行うとともに、活性化のための有効な支援策を検討していきます。</p>				

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		ごみ・し尿の収集・運搬			款	6	項	1	目	3	事業	3	整理番号	447	
担当部課名		環境部ごみ減量対策課			係名	事業計画係			連絡先電話番号	3725		昨年度整理番号	444		
上位施策No・施策名		10 ごみの減量と資源化の推進			予算事業区分			既定事業							
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	12	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象		○区内一般家庭 ○事業者(排出日量50kg未満)			内部管理		根拠法令等		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物処理及び再利用に関する条例					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬します。 ○区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図ります。			活動指標名(式)		(1) ごみ(可燃、不燃、粗大)の収集量 (2) 粗大ごみの収集点数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○区民等が分別し排出した可燃ごみ・不燃ごみを中間処理施設又は車両中継施設に搬入する。 ○粗大ごみは、受付、収集、中継所までの運搬及び日曜収集、中継所への区民持込を委託により実施する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)区民一人1日当たりのごみ排出量 算定式・指標の説明等 ごみ(可燃、不燃、粗大)の収集量÷杉並区人口÷365日 成果指標名(2) (代)1トン当たりのごみ・し尿収集運搬コスト 算定式・指標の説明等 ごみ・し尿収集運搬コスト(事業費)÷ごみ収集量							
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)		1	t	106,490	104,256	104,168	102,114	102,114	100,469	100.0				
	活動指標(2)		2	点	410,535	400,000	435,510	410,000	461,277	488,000	112.5				
	成果指標(1)		3	/人・日	541	530	528	520	515	510	99.0				
	成果指標(2)		4	円/t	10,461	15,111	16,011	16,400	16,024	16,967	97.7				
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	1,114,041	1,705,454	1,667,852	1,674,635	1,605,152	1,704,692	25年度予算執行率(%)		95.9		
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費		7	千円	1,097,071	1,687,580	1,656,949	1,654,041	1,593,743	1,675,839					
	職員数	常勤職員数		8	人	160.83	152.77	167.23	148.75	162.67	152.66	○活動指標(2)粗大ごみの収集点数は、23年度から6%ずつ増加しているため、26年度計画はその増加率を基に算出した(100点未満切り捨て)。 ○受益者負担分は、廃棄物処理手数料収入です。 ○平成24年度以降、杉並清掃工場の建替えにより、事業費(収集運搬経費)が増加しています。			
		再任用職員数		9	人	18.66	0.00	12.77	10.00	10.43	13.10				
		非常勤職員数		10	人		17.10	6.50	3.80	3.83	0.00				
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	1,431,387	1,329,099	1,454,901	1,283,713	1,403,842	1,317,456				
		(内)再任用職員分		12	千円	57,473	0	50,186	38,600	40,260	50,566				
		(内)非常勤職員分		13	千円		47,025	17,875	10,564	10,647	0				
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	2,602,901	3,081,578	3,190,814	3,007,512	3,059,901	3,072,714					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	24,443	29,558	30,631	29,452	29,966	30,584					
	財源	受益者負担分		16	千円	269,100	295,280	290,807	306,608	304,957	328,467				
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	3,216						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	269,100	295,280	290,807	306,608	304,957	331,683						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	2,333,801	2,786,298	2,900,007	2,700,904	2,754,944	2,741,031						
受益者負担比率(16÷14)		22	%	10.3	9.6	9.1	10.2	10.0	10.7						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 447

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		可燃ごみ・不燃ごみの収集運搬	311	日	1,231,911
		粗大ごみの収集運搬	361	日	151,271
		し尿の収集運搬	34	戸	14,453
		収集作業員人件費(臨時)	延863	人	8,617
		その他(賃借料・委託料・消耗品購入 ほか)			
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	可燃ごみは前年度比98.7%、不燃ごみは前年度比96.0%と着実に減少しています。また、粗大ごみは、金属分の選別、再資源化の取組を開始したことにより、前年度比85.4%と大幅に減少しました。ごみ量全体では、約2,000tの減少となりましたが、他区の清掃工場への搬入による車両経費が増加したままですが、ごみ量の減少により、収集・運搬経費も前年度比94.5%と減少しています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	可燃ごみ量 平成12年度 108,401t ⇒ 平成25年度 94,002t 対平成12年度比 約13%減 不燃ごみ量 平成12年度 25,288t ⇒ 平成25年度 4,330t 対平成12年度比 約83%減 粗大ごみ量 平成12年度 4,919t ⇒ 平成25年度 3,783t 対平成12年度比 約23%減 総 計 平成12年度 138,608t ⇒ 平成25年度 102,115t 対平成12年度比 約26%減
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	資源物の分別に関する問い合わせが、多く寄せられ、資源化に取り組むうとするごみ減量行動の実践、意識が浸透してきています。また、雪害など荒天時においても収集作業を行ったことに対し、感謝の声も多く届いています。一方、集積所管理は特定の利用者に負担が大きく、ごみを出す人のマナーなどによるトラブルが発生していることから、戸別収集を希望する声が多く寄せられています。
	今後の予測	ごみ量は、平成25年度に改定した杉並区一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみの減量や資源化の推進、適正排出のための具体的な取組などにより年々減少していきます。しかし、近隣関係の困難さや若年層・単身世帯の排出マナーの課題などから集積所数の更なる増加が見込まれます。
評価と課題	平成25年度の杉並区の区民一人1日あたりのごみ量は515グラムと、前年度と比較して13グラム減少しました。 しかし、平成29年までの杉並清掃工場の建替期間中は、他区の清掃工場へごみを運搬するため、収集車両台数の増車を実施しており、より効率的な収集体制を早急に確立していきます。 事業系ごみの収集においては、平成25年10月に廃棄物処理手数料の改定を行いました。特にトラブルもなく順調に実施しています。今後も、適正なごみ処理券の貼付に向けた更なる周知・指導を行っていきます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性 ○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
	II 事業の方向性 ● 手段・方法の見直し ○ 実施主体の見直し ○ 対象の見直し	
収集コストの抑制のため、区民や地域活動団体と協働しながら、意識向上のための普及啓発や教育の充実を図り、更なるごみの減量を行っていくとともに、施設再編等も見越した継続的な計画の進行管理を行い、ごみ量に見合った効率的な収集体制を確立していきます。 また、粗大ごみや不燃ごみの資源化の実施による金属等の売払による歳入の確保や資源の有効活用に努めていきます。		

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		資源の回収			款	6	項	1	目	3	事業	5	整理番号	449
担当部課名		環境部杉並清掃事務所			係名	資源対策係			連絡先電話番号	3317-6771		昨年度整理番号	446	
上位施策No・施策名		10 ごみの減量と資源化の推進			予算事業区分			既定事業						
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	11	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		資源の排出者			内部管理		根拠(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
						施設維持管理		等(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○再商品化が可能な古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装の資源物を分別収集することにより、ごみの減量化とリサイクル率の向上に結び付けていく。			活動指標名(式)								
					(1) 資源の回収量(行政回収分)									
					(2)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○ごみ・資源の集積所に排出された資源(古紙・びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装)を回収し、中間処理施設に搬入する。中間処理施設で選別・圧縮・梱包等した後、再商品化施設に引き渡し、再商品化する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
					成果指標名(1)		(代)リサイクル率							
					算定式・指標の説明等		(区資源回収量+集団回収量)÷(家庭ごみ量+区資源回収量+集団回収量)							
					成果指標名(2)		(代)資源の回収コスト							
					算定式・指標の説明等		資源回収コスト(事業費)÷資源回収量(区回収分)							
区分		単位	23年度	24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	t	32,464	32,693	32,372	32,325	32,684	32,500	101.1				
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3	%	27	27	27	27.5	28.4	28	103.3				
	成果指標(2)	4	円/t	60,250	66,437	66,910	68,507	66,601	67,000	97.2				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,955,962	2,172,009	2,166,035	2,212,411	2,176,781	2,342,050	25年度予算執行率(%)	98.4			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	1,944,624	2,159,564	2,154,937	2,192,612	2,160,583	2,325,933					
	職員数	常勤職員数	8	人	28.18	15.36	12.25	12.80	10.53	9.83				
		再任用職員数	9	人	1.01	0.00	1.01	0.00	0.00	0.30				
		非常勤職員数	10	人		1.00	0.50	1.00	0.50	0.00				
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	250,802	133,632	106,575	110,464	90,874	84,833				
		(内)再任用職員分	12	千円	3,111	0	3,969	0	0	1,158				
		(内)非常勤職員分	13	千円		2,750	1,375	2,780	1,390	0				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	2,209,875	2,308,391	2,277,954	2,325,655	2,269,045	2,428,041					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	68,072	70,608	70,368	71,946	69,424	74,709					
	財源	受益者負担分	16	千円	276,888	282,288	231,880	0	0	0				
		国からの補助金等	17	千円	125,234	40,000	53,111	0	0	0				
都からの補助金等		18	千円	46,543	50,000	53,475	40,000	51,428	45,000					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	168,138	240,953	254,896					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	448,665	372,288	338,466	208,138	292,381	299,896					
差引:一般財源(14-20)	21	千円	1,761,210	1,936,103	1,939,488	2,117,517	1,976,664	2,128,145						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	12.5	12.2	10.2	0.0	0.0	0.0						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 449

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		古紙・びん・缶の回収業務委託			644,606
		ペットボトルの回収業務委託			382,281
		プラスチック製容器包装回収事業			534,804
		中間処理委託(回収した資源の中から異物を取り除き、圧縮・梱包する)	5	種別	592,330
	その他(消耗品 ほか)			22,760	
(2)事業実績(協働、行革の取組があれば記入)	古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を回収後、中間処理施設まで運搬し、選別・圧縮等の処理をしています。また、資源の持ち去り防止対策として、専用の新聞回収袋を区の施設約20箇所(区民事務所等)に置き、区民提供すると共に、早朝回収及び早朝パトロールを行っています。平成25年度は、持ち去り行為を繰り返す違反者に対し、刑事告発(3件・2名)や氏名公表(12名)を行うと共に、関東製紙原料直納組合及び杉並リサイクル事業協同組合と共同で、GPSを活用した古紙の追跡調査を3回実施しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○平成11年6月からびん・缶・古紙の集積所回収を開始し、平成12年度の清掃事業の区へ移管以降はさらに平成18年10月から雑紙を、また平成20年4月からはペットボトルとプラスチック製容器包装の集積所回収をはじめると、着実に行政回収が定着しています。 ○その反面、行政回収量は年々減少しています。また、区民からの集積所の分散の要望が増えていることによる集積所の細分化が進み、回収時間が長くなるなど職員・業者の負担が増えています。 ○一方、市況によっては、資源が高額で売却できるため、資源(特に新聞)の持ち去り行為が引き続き行われています。 ○昨年度より粗大ごみ及び小型家電の金属部分の資源化事業を別途開始しました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	小型家電の回収を集積所で行ってほしいなど、集積所でのリサイクル品目の追加を求める声や、衣類回収の拡大に関する問い合わせが多くあります。 資源の持ち去り行為に対しては、警告書や命令書の交付、氏名等公表にとどまらず、深夜帯のパトロールなど、さらなる取り締まりの強化を要望する声が多く寄せられています。			
	今後の予測	リサイクル率を向上させるためには、区民にさらなる分別を徹底してもらうためのPR等周知と、資源回収品目の拡大が不可欠ですが、資源回収品目の拡大は、区民負担や費用対効果を考慮するとともに、民間事業者の行う再資源化の取組を見極めたうえで実施する必要があります。 また、資源持ち去り対策には集団回収の拡大が有効だと考えられますが、全面移行した他区の状況などを見ながら、検討していきます。			
評価と課題	リサイクル率は向上し、ごみ量も減少していますが、更なる向上のためには、リデュース、リユース、リサイクルの「3R」の普及啓発や、資源回収品目の拡大が不可欠です。今後、普及啓発の強化や、資源回収品目拡大を具体化し、リサイクル率を向上を図ります。また、資源持ち去りパトロールなどの対策により、持ち去り行為者は減少していますが、一部常習者が継続的に行っている状況です。根本的な対策として、常習者に車両等を貸し出している事業者や資源を買い取る問屋等への対策を事業者組合等と協力していく事が課題となっています。				

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	● 拡 充 ○ 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他			
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	資源回収においては、あらゆる媒体を駆使して、区民に対し幅広くよりわかりやすい分別方法を周知し、さらなる分別の徹底を図っていきます。また、資源回収品目の拡大については、別途粗大ごみ・小型家電などの資源化をすすめ、不燃ごみの資源化なども検討しながら進めていきます。 なお、若年の単身者世帯や外国人の世帯については制度自体の認知が低い状況にあるため、スマートフォンのアプリなどのさらなる活用を図るとともに、広報・ホームページの充実、不動産業者など集合住宅の関係団体との連携など、区民に対して幅広くごみ・資源の分別方法の情報を提供していきます。 資源持ち去り対策については、従来のパトロールを実施していくほか、GPSを活用した追跡調査をさらに進めるなど、効率的に持ち去りを防止できる対策を検討・実施し、早朝回収の強化と集団回収の拡大、支援の充実をすすめていきます。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		ごみ・資源の排出の適正管理			款	6	項	1	目	3	事業	6	整理番号	450			
担当部課名		環境部杉並清掃事務所			係名	管理係			連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	447				
上位施策No・施策名		10	ごみの減量と資源化の推進			予算事業区分			既定事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標			3	施策	10	計画事業	3	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	区民及び区内事業者並びに区内建築物所有者及び管理者			内部管理				根拠法令等	(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	ごみの分別の徹底を働きかけ、カラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすく、より低コストで効果的な方策を探り、集積所の衛生状態や街の美観を保持する。			活動指標名(式)			(1) 廃棄物処理手数料の収納済額(動物死体処理手数料除く) (2) 事業用大規模建築物への立入指導件数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○事業系及び粗大ごみ処理手数料及び動物死体処理手数料の徴収を行う。 ○ごみ排出の適正化指導、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導などを行う。			成果指標			※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画									
指標	活動指標(1)	1	千円	353,162	372,811	363,923	392,193	387,868	406,939	98.9							
	活動指標(2)	2	件	73	100	57	100	71	100	71.0							
	成果指標(1)	3	%	0.1	0.0	1.4	0.0	1.0	0.0								
	成果指標(2)	4															
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	68,554	59,371	52,469	66,753	57,878	67,455	25年度予算執行率(%)		86.7					
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内) 委託費	7	千円	17,612	21,136	17,707	22,264	18,559	21,755	○カラスネット配布数及び動物死体処理数が計画よりも減った等の理由により執行残となりました。 ○受益者負担の内容は「廃棄物処理手数料」「動物死体処理手数料」です。							
	職員数	常勤職員数	8	人	35.51	35.70	36.84	35.00	37.30	31.95							
		再任用職員数	9	人	1.10	0.00	1.00	0.50	0.67	0.50							
		非常勤職員数	10	人		2.10	0.10	0.50	0.10	0.05							
	人件費	(内) 常勤職員分	11	千円	316,039	310,590	320,508	302,050	321,899	275,729							
		(内) 再任用職員分	12	千円	3,388	0	3,930	1,930	2,586	1,930							
		(内) 非常勤職員分	13	千円		5,775	275	1,390	278	139							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	387,981	375,736	377,182	372,123	382,641	345,253								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,099	1,008	1,036	949	987	848								
	財源	受益者負担分	16	千円	12,360	13,048	28,112	35,233	34,863	28,951							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	411	614	430	558	376	501							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	12,771	13,662	28,542	35,791	35,239	29,452								
差引:一般財源(14-20)	21	千円	375,210	362,074	348,640	336,332	347,402	315,801									
受益者負担比率(16÷14)	22	%	3.2	3.5	7.5	9.5	9.1	8.4									

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 450

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		有料ごみ処理券徴収事務委託	333	店	13,359
		動物死体処理委託	1,037	頭	2,349
		折り畳み式ごみボックス(1,050台)、カラスネット(780枚)	1,830	台	21,081
		その他(ごみ処理券印刷、大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか)			21,089
(2)事業実績(協働、行革の取組があれば記入)	<p>ごみ・資源集積所で、カラスによる被害防止を図るため、折り畳み式ごみボックス、カラスネットの配布及び交換を継続して行い、道路、町の衛生保持、美観の向上に努めました。</p> <p>平成25年10月のごみ処理手数料改定にあたり、事業者、区民、各種団体、公募店向けにさまざまな媒体による周知、説明会等を行いました。</p> <p>それにあわせて、「ふれあい指導班」により事業系有料ごみ処理券貼付の適正化に向け商店会等へ集中指導(訪問指導)を行いました。</p> <p>また、廃棄物管理責任者講習会を9月と2月に開催しました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○平成20年度からは、サーマルリサイクルを開始し、不燃ごみのうち廃プラスチックや皮革製品などが、可燃ごみへ分別変更されるとともに、新たな資源の分別としてプラスチック製容器包装、ペットボトルが加わり、古紙も分類に雑がみ加わるなど、ごみ減量のための資源化が図られています。</p> <p>○相隣関係の困難さやごみ排出適正化の推進、狭小路地地区へのきめ細かなサービスを提供するなど、ごみ資源集積所の分散化が年々進んでいます。</p> <p>○杉並清掃工場の建替えに伴い、可燃ごみの全量を指定された他清掃工場へ搬入しています。</p> <p>○平成25年10月にごみ処理経費と受益者負担との見直しにより、ごみ処理手数料を改定しました。</p>
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>区民の環境への関心が高まっているなかで、ごみ・資源集積所の管理や、ごみ・資源の分け方・出し方に関する質問や要望・苦情も多くなっています。</p>
	今後の予測	<p>区民や事業者から、ごみの出し方や集積所の管理等に関する問い合わせが、今後も続く予測されます。</p>
評価と課題	<p>ごみ量は、ごみの分別の徹底や資源化の推進により、年々減少の一途をたどっています。しかし、若年層や単身世帯への分別方法の周知及び更なるごみの減量、資源化の促進に課題があります。また、事業者への事業系有料ごみ処理券の貼付の周知・指導により、貼付率は上がっています。平成25年10月にごみ処理手数料が改定されたことに伴い、事業系ごみ処理券の適正貼付に関し、事業者への理解と協力を得ながら継続して周知・指導を行い、交付枚数及び貼付率の向上を図ります。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	● 拡 充 ○ 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他			
	II 事業の方向性		● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	<p>○ごみの減量のためには、ごみ・資源の分別の徹底と排出者責任を明確にすることが重要です。今後も事業者に対し、貼付の周知・指導を継続して実施し、事業系有料ごみ処理券の適正な貼付を図っていきます。</p> <p>○平成26年1月から配信した「杉並版ごみ出しアプリ」を検証し、引き続き、環境問題に関心の薄い若年層や単身世帯への分別方法の周知を図っていきます。</p> <p>○ふれあい収集時に、ごみが出ていない場合に声かけをするなどして、対象者の安否確認を行っていきます。特に夏場の熱中症対策の一環として、安否確認を強化していきます。</p>					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 453

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		自動車用燃料	49	台	13,311
		車両点検整備	49	台	17,834
		維持管理経費 (車両消耗品、保険料・公課費等)	49	台	2,258
		整備架装研修	1	人	53
		その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	○車両点検整備の実施 ①3ヶ月点検36台 ②6ヶ月点検63台 ③12ヶ月点検15台 ④架装点検137台 ⑤車検事前点検35台 ○各種研修・講習会の実施 ①交通安全講習会(6回)②安全運転特別講習会(3回) ③運転実技指導(2回) ④事故事例研究会 ⑤普通救命講習会(2回)⑥安全点検パトロール(3回)⑦整備架装研修				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	○これまで各種研修や講習会を実施し安全運転技術及び安全運転に対する意識の向上に努めてきました。それにより25年度事故件数は前年度より減少しました。今後は、加害事故の根絶に向けた取組強化が課題となっています。 ○杉並清掃工場建替えに伴い、可燃ごみは効率的な作業計画により指定された他清掃工場へ搬入されています。 ○清掃車両の保有台数については、清掃車両のコストを考慮し、年々減少しているごみ量に応じた減車を図ることとし、委託化等により効率的かつ機動的なあり方を引き続き検討していきます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		杉並清掃事務所の維持管理		款	6	項	1	目	4	事業	2	整理番号	454
担当部課名		環境部杉並清掃事務所		係名	管理係			連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	452	
上位施策No・施策名		10	ごみの減量と資源化の推進					予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象	12,615.34㎡(本所-784.70㎡(S41.6竣工)、下井草分室-602.96㎡(S58.9竣工)、旧杉並中継所-6890.31㎡(H8.3竣工)、方南支所1875.64㎡(S53.12竣工)、事業所2461.73(H12.1竣工))			内部管理			根拠法令等	(1) 消防法 (2) 建築基準法				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○建物や設備等を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保する。			施設維持管理	1		活動指標名(式)	(1) 電気使用量 (2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○杉並清掃事務所、下井草分室、方南支所、高円寺車庫及び旧杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行う。			成果指標			※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)											
		算定式・指標の説明等											
		成果指標名(2)											
		算定式・指標の説明等											
区分		単位	23年度	24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	1	kwh	868,010	850,649	892,524	850,000	921,739	1,100,000	108.4			
	活動指標(2)	2											
	成果指標(1)	3											
	成果指標(2)	4											
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	164,272	104,297	95,857	113,760	104,784	129,309	25年度予算執行率(%) 92.1			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○受益者負担の内容は「清掃事務所使用料」「敷地使用料」「光熱水費使用者負担金」「保守委託負担金」です。			
	(内)委託費	7	千円	88,724	41,712	40,304	43,228	41,551	48,781				
	職員数	常勤職員数	8	人	6.14	5.70	5.97	5.60	5.91	5.65			
		再任用職員数	9	人	3.00	0.00	1.00	0.50	0.67	0.70			
		非常勤職員数	10	人		3.00	1.01	1.20	1.17	1.00			
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	54,646	49,590	51,939	48,328	51,003	48,760			
		(内)再任用職員分	12	千円	9,240	0	3,930	1,930	2,586	2,702			
		(内)非常勤職員分	13	千円		8,250	2,778	3,336	3,253	2,780			
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	228,158	162,137	154,504	167,354	161,626	183,551				
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	263	191	173	197	175	167				
	財源	受益者負担分	16	千円	8,168	7,336	8,968	10,800	10,015	11,225			
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	8,168	7,336	8,968	10,800	10,015	11,225				
差引:一般財源(14-20)	21	千円	219,990	154,801	145,536	156,554	151,611	172,326					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	3.6	4.5	5.8	6.5	6.2	6.1					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 454

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		保守管理委託費	5	所	38,810
		光熱水費	5	所	51,274
		維持管理経費	5	所	8,059
		施設等整備費	5	所	6,641
		その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	<p>○老朽化が進んでいる各清掃施設について、各種保守委託や計画的、緊急的な修繕・工事を行い、最小限の執務環境の維持に努めてまいりました。</p> <p>○大規模修繕として高円寺車庫の脱臭塔カートリッジの修理を行いました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	<p>○各清掃施設の老朽化に伴い、機器設備の不具合や緊急的な修繕など顕著になっています。また、耐震診断においては、安全なIS値を満たしておらず、大規模な震災が発生した場合に損壊する恐れがあります。</p> <p>○「区立施設再編整備計画(第一期)」に基づき、築47年経過した杉並清掃事務所の改築を行うことになり(1)改築期間中における機能分散、(2)改築に合わせた方南支所及び下井草分室の移転集約、及び(3)改築における敷地の有効活用と他用途活用のあり方等について、庁内検討組織を設置して検討していきます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	